

「春の全国交通安全運動」(5月11日～20日)が始まるのを前に、警察官や市交通指導隊員、市交通安全母の会会員などが集まり、出動式が行われました。

出動式で倉光市長は「信号のない横断歩道で歩行者を優先するルールがまだまだ守られていないようです。啓発活動や取り組みを強化し、歩行者の安全確保に努めていただきたい」とあいさつ。つがる警察署坂下浩章署長は「市内で交通事故の発生件数、けが人の数が、昨年の倍以上に増えています。児童の見守りをはじめ各種活動により、交通ルールを守る、かけがえのない命を守る意識が市全体で高まるよう、関係者の皆さんの協力をお願いします」とあいさつしました。

## 必ず守ろう！ 交通ルール



5/9  
市役所前

出動式に臨む関係者



5/12  
農産物直売所

大きな声で「安全運転をお願いします」と呼び掛ける園児たち

かしわあつがるこども園(田中ゆかり園長)では、柏駐在所の協力を得て交通安全教室を開催。園児15人が、横断歩道の前では2歩下がって待つことや左右・前後をよく見ることなどを実践しながら学びました。

その後、園児たちは市農産物直売所に移動し、買い物客などに手作りの交通安全マスコットを配布し、交通安全を呼び掛けました。

## 弾道ミサイルを想定した避難訓練を実施

国や県などと連携し、本市で初めて弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が行われました。市役所、市内全小中学校および伊藤鉱業アリーナつがるを会場に、市職員や地域住民、児童生徒など約2,600人が参加し、対処方法や避難行動を確認。アリーナの駐車場では、防災イベントを開催中に、弾道ミサイルが発射されると想定し、木造中2年生をはじめ消防隊員や警察官たちは、防災行政用無線が流れると、指示に従って速やかにアリーナ内に避難しました。

訓練後の講評で倉光市長は「本市には航空自衛隊と米陸軍の基地が所在し、非常時に狙われる可能性があることを、市民の皆さんも理解し、いつかはこういうときが来るかもしれないと認識していただきたい」と力を込めました。木造中の中野匠毅君は「もしもの時に備えて、普段の避難訓練でも実際に起こることを想定し真剣に取り組みたい」と話しました。

5/10  
伊藤鉱業アリーナ  
つがる



避難し窓のない壁の近くで頭を抱え込んでかがむ訓練参加者

5/19  
車力地区

## 田植え真っ最中 生産者を督励



田植え機を操作する倉光市長

稲作農家の生産意欲の高揚を図ろうと、倉光市長はじめ西北地域県民局、農協関係者などが、田植え作業中の生産者を督励しました。

この日一行は、車力地区の松橋正儀さんと清野竹人さんを訪問し、順調に作業が進んでいることを確認。西北地域県民局では、田植え後も天気に合わせて適切に水管理することや、補植用苗はいもち病の発生源になるので、補植後直ちに処分することなどを呼び掛けました。

倉光市長は「稲作で最も労力を使うのが田植えですが、事故の無いように作業してください。出来秋を期待しています」と激励。「まっしぐら」を約24町歩作付けする松橋さんは「昨年は大雨の影響で減収となったが、今年は割りと天候に恵まれているので、このまま秋の収穫を迎えられれば」と期待していました。

# 2人の地域おこし協力隊が着任!!

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などの進捗が著しい地方において、地域外から人材を受け入れ、地域が抱える課題の解決や地域活性化などに取り組みながら、その地域への定住・定着を図ることを目標とした制度です。5月1日付けで新たに着任した2人をご紹介します。

成田邦治さん、久美子さん夫妻の地域おこし協力隊員としてのミッションは地域の農業の後継者となること。任期中は就農研修生として実践を積み、就農に向けた技術や経営手法を習得します。また、県内外に向けてつがる市の地域おこし協力隊の魅力発信にも取り組みます。

令和2年に結婚し、名古屋市に住んでいた成田さん夫妻。邦治さんは海苔の製造・販売を手掛ける会社で営業職として、久美子さんはヨガのインストラクターとして働いていました。

昨年5月、久美子さんの実家に行った際、義父が所有する水田の田園風景に感銘を受けた邦治さん。「このようところで米農家として生計を立てられたら幸せだろうなと思った」と話します。その後、稲作で生計を立てるために勉強を重ね、津軽地方のいくつかの自治体に相談。訪ねたつがる市役所で農家を紹介してもらい、その農家が「本当に農業をやりたいのなら教えてあげるよ」と快く言ってくれたことから、米農家への転身を決心。今年3月末で19年勤めた会社を退社しました。

地域おこし協力隊員として歩み出した邦治さんは、「真面目にやって、地域に貢献し、地域の皆さんに認められるようにがんばりたい」と、久美子さんは「地域の方にヨガを伝えて、健康増進や農業をされている方の丈夫な体づくりにも貢献したい」とやる気に満ちていました。



くにはる  
**成田 邦治さん**  
名古屋市出身  
1980年1月16日生



くみこ  
**成田 久美子さん**  
むつ市出身  
1985年7月5日生

## 木造住宅耐震診断支援事業

安全性の高いまちづくりに資することを目的に、つがる市木造住宅耐震診断支援事業を実施します。

耐震診断を希望する市内に木造住宅を所有する方、市に住民登録し市内の木造住宅に現に住んでいる方に、耐震診断員を派遣し診断業務を行います。

▼**診断費用(自己負担分)**：1万1千円(延べ面積200㎡を超える場合は自己負担の増額があります)

▼**募集戸数**：先着1戸(募集戸数に達した場合は、期間内であっても募集を終了します)

▼**申込書**：市ホームページからダウンロードできるほか、建築住宅課で申込書を配布します。(閉庁日を除く8時30分～17時)

▼**募集期間**：7月3日(月)～10月31日(火)(閉庁日を除く)

※詳細は市ホームページをご覧ください。

※悪質な業者による勧誘にご注意ください。

【問い合わせ先】 建築住宅課 電話42-2111  
(内線381・384)

## ブロック塀耐震改修促進支援事業

地震発生時にブロック塀等の倒壊を未然に防止し、通学路および避難路を通行する人の安全を確保するため、倒壊の危険性があるブロック塀等の改修・除却工事等を実施する方に対し、工事に要する経費の一部を補助します。

▼**補助金額**：工事費の2/3、上限12万円(上限を超えた分は自己負担)

▼**募集戸数**：先着2戸(募集戸数に達した場合は、期間内であっても募集を終了します)

▼**申込書**：市ホームページからダウンロードできるほか、建築住宅課で申込書を配布します。(閉庁日を除く8時30分～17時)

▼**募集期間**：7月3日(月)～10月31日(火)(閉庁日を除く)

※詳細は市ホームページをご覧ください。

※悪質な業者による勧誘にご注意ください。

【問い合わせ先】 建築住宅課 電話42-2111  
(内線381・384)